

令和7年度 三河小中学校長会 役員・理事・常任委員会

令和7年6月4日（水）

13：30 オンライン会議

1 会長あいさつ

2 本日の日程

- | | |
|---------------|-------------|
| ○ 各種関係団体説明・依頼 | 13：30～13：50 |
| ○ 役員・理事・常任委員会 | 13：50～14：50 |
| ○ 休憩 | 14：50～15：00 |
| ○ 校長研修会 | 15：00～16：00 |

3 関係団体連絡

・県校長会

・三教研

・県校長会事務局

4 協議事項

- (1) 三河教育懇談会について
 - ① 三河教育懇談会規約
 - ② 三河教育懇談会の概要
 - ③ 三河教育懇談会の運営案
 - ④ 三河教育懇談会参加予定者数
 - ⑤ 来賓、会員への案内状の発送
 - ⑥ 令和5年度の三河教育懇談会の反省
- (2) 全連小・全日中総会の報告について
- (3) 後援名義・事業推薦申請について
- (4) 各専門委員会・部会の当面する課題等について
- (5) その他

5 連絡事項

(1) 各専門委員会・部会の報告について

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ①法制 | ②教育条件 | ③学校経営 |
| ④進路 | ⑤保健体育 | ⑥福祉安全 |
| ⑦給食 | ⑧生徒指導 | ⑨特別支援教育 |
| ⑩修学旅行特別 | ⑪教育課題特別 | ⑫東陸中特別 |

(2) 令和7年度三河小中学校長会専門委員会の組織について

(3) 令和7年度各種関係団体役員名簿について

(4) 令和8年度の会合予定について

- | | |
|--------------|--------------|
| ・三河小中学校長会総会 | 令和8年5月12日（火） |
| ・愛知県小中学校長会総会 | 5月19日（火） |
| ・三河教育研究会総会 | 5月20日（水）予定 |
| ・県へき地研総会 | 5月22日（金）予定 |

(5) 教育研究・交通遺児育英助成に係る応募について

(6) 総会の反省について

(7) その他

【校長研修会】

① 「部活動地域移行の現状と今後の課題」

講師：愛知県教育委員会保健体育課指導主事 福井 孝徳 様

② 「県立刈谷附属中学校の状況と展望」

講師：県立刈谷高等学校附属中学校副校長 木村紘一朗 様

※次回案内 役員・理事・評議員会

期日：令和7年8月8日（金） 14：00より

会場：岡崎ニューグランドホテル

令和7年6月4日

三河小中学校長会 役員・理事・常任委員会

会長 加藤 嘉一

1 はじめに

2 活動報告と今後の取組について

(1) 三河教育懇談会について

(2) 校長研修会について

ア テーマ 「子どもを取り巻く現状と今後の方向をとらえる」

イ 研修計画

	月 日	内 容
1	6月4日(水) ※リモート	部活動地域展開の現状と今後の課題 (県保健体育課・福井指導主事様) 県立刈谷附属中学校の状況と展望 (木村副校長様)
2	10月7日(火)	講話：新学習指導要領の方向(仮題) 講師：文部科学省初等中等教育局 視学官 水谷尚人 様
3	11月7日(金)	講話：求める校長像(仮題) 講師：新城市教育委員会 教育長 安形 博 様
4	1月14日(水) ※リモート	学校・子どもの課題と学校経営の方策(仮題) ※校長 専門委員会活動から見てきた課題と方策(仮題) ※委員長

※基調提案をお願いする校長・委員長は今後検討

(3) 愛知教育文化振興会及び愛知県教育振興会について

3 会長活動報告

期 日	内 容
4 月 02 日	三河小中学校長会総会案内（豊橋市教委、幸田町教委、岡崎市教委他）
4 月 03 日	三河教育研究会仮役員会（附属中）
4 月 10 日	三河小中学校長会総会案内（県教委、各種団体他） 教育講演会講師依頼（川原教育長・県庁） 県校長会地域代表者会、県・市代表者会（県教育会館）※市行事のため欠席
4 月 11 日	三河小中学校長会仮役員・理事会、評議員会、専門委員会（ライブ・ポート）
4 月 15 日	県へき地教育研究協議会振興会議（三河教育会館）
4 月 16 日	三河教育研究会仮役員会、評議員会（附属中）
4 月 18 日	県小中学校長会常任委員会・評議員会（県教育会館）
4 月 19 日	三河教育懇談会（岡崎ニューグランド）
4 月 23 日	三河小中学校長会仮役員会（竜美丘会館）
4 月 25 日	県へき地教育研究協議会振興会議（豊田・小原交流館）※学校行事のため欠席
5 月 02 日	三河 P T A 連絡協議会新旧役員会（安城市文化センター）
5 月 13 日	三河小中学校長会総会（岡崎・竜美丘会館）
5 月 15 日	全日中総会（東京）※学校行事のため欠席
5 月 16 日	県へき地教育研究協議会総会（豊田・小原交流館）
5 月 19 日	県小中学校長会総会（Niterro 日本特殊陶業市民会館）
5 月 20 日	総会御礼挨拶回り（岡崎市役所、三河教育会館他）
5 月 21 日	三河教育研究会総会（蒲郡市民会館）
5 月 28 日	三河教頭会総会・講演会（岡崎・竜美丘会館）
5 月 29 日	全国へき地教育研究連盟春季総会（東京）※学校行事のため欠席
5 月 30 日	愛知教育文化振興会臨時理事会（三河教育会館）
6 月 02 日	愛知県 P T A 連絡協議会会計監査会（県教育会館）
6 月 03 日	三河 P T A 連絡協議会定期総会（安城市文化センター）
6 月 04 日	三河小中学校長会役員・理事・常任委員会（Web 会議）

4 その他

三河小中学校長会役員・理事会、常任委員会資料

令和7年 6月 4日(水)

愛知県小中学校長会事務局

1 郡市代表あて郵送物(6月10日ころ発送)について

(1) 退職公務員連盟準会員の会費納入依頼と領収書

- ・ 依頼文書に則り、郡市分を取りまとめ、代金(一人500円)を最寄りの郵便局から7月25日(金)までに振込みをお願いします。
- ・ 7月8日(火)開催の県校長会常任委員会・評議員会の受付で支払っていただいても構いません。
- ・ 同封の領収書を準会員(小・中・義務教育学校長)のみなさまにお渡しください。

(2) 全連小発行図書のご案内と購読依頼書

- ・ 依頼書に則って、郡市で取りまとめていただき、同封のハガキにて申し込みをお願いします。
- ・ 図書は、ハガキに書き込んでいただく責任者のところへ直接送られます。
- ・ 県校長会事務局で購読数の集計を行いますので、ハガキは購読の有無にかかわらず、7月25日(金)までに返送してください。
- ・ 代金は依頼書にある口座へ7月8日(月)以降、7月25日(金)までに振り込んでください。振込手数料は、郡市負担をお願いします。

全連小・東陸小用口座

三菱UFJ銀行	鶴舞支店(店番 267)
口座番号	普通 0095861
口座名	愛知県小中学校長会 事務局長 波多野慎次(ハダノシジ)

(3) 「全国中学研究校便覧」第37集の配付と集金について

- ・ 各郡市の「全国中学研究校便覧」の配付担当者にお届けする予定でしたが、上記(1)、(2)とともに郡市代表様のところにお届けします。
(ただし、豊田市、豊橋市、岡崎市については、直接、全日中より担当者に送付されます。)
- ・ 届きしだい、貴郡市の中・義務教育学校に配付をお願いします。
- ・ 集金額は、950円×注文冊数(中・義務教育学校数)。
- ・ 代金は各郡市で取りまとめ、7月8日(火)の県校長会常任委員会・評議員会の受付で支払うか、下記口座へ振り込んでください。振込手数料は各郡市でご負担ください。

全日中・東陸中用口座

三菱UFJ銀行	鶴舞支店(店番 267)
口座番号	普通 0095887
口座名	愛知県小中学校長会 事務局長 波多野慎次(ハダノシジ)

2 その他

三河教育懇談会規約

【名 称】

第1条 本会は、三河教育懇談会と称し、事務局を三河小中学校長会長の在任校に置く。

【目 的】

第2条 本会は、三河地区の小中学校で学ぶ児童生徒の心身ともに健全な成長を願い、教育諸活動の在り方を協議するとともに、教育文化の向上に寄与することを目的とする。

【事 業】

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 1 講演会、研修会等の開催
- 2 教育活動の改善に関する研究
- 3 その他本会の目的達成に必要な事項

【組 織】

第4条 本会は、次の教育機関等をもって組織する。

- ・ 三河部都市教育長協議会
- ・ 三河部町村教育長協議会
- ・ 三河小中学校長会
- ・ 三河教育研究会
- ・ 愛知県教育委員会三河出向者会
- ・ 三河教頭会
- ・ 三河小中学校PTA連絡協議会
- ・ 三河教員組合連絡協議会

【役 員】

第5条 本会に次の役員を置き、後ろに示した役職者をもってそれに充てる。

- 1 会 長 1名（三河部都市教育長協議会長）
- 2 副 会 長 3名（三河部町村教育長協議会長）
（三河小中学校長会長）
（三河教育研究会長）
- 3 庶 務 3名（三河小中学校長会副会長）
（三河教育研究会副会長）
（三河教頭会長）

- 4 会 計 2 名 (三河小中学校長会会計)
(三河教員組合連絡協議会長)
- 5 会計監査 3 名 (三河小中学校長会顧問代表)
(愛知県教育委員会三河出向者会長)
(三河小中学校 P T A 連絡協議会長)

【会 議】

第 6 条 本会の会議は、次のとおりとする。

- 1 総会 2 理事会 3 役員会

【総 会】

第 7 条 必要に応じて総会を開き、目的の遂行に努める。

【理事会】

第 8 条 本会に理事会を置く。理事会は、本会を組織する教育関係機関等の代表者等によって構成し、会の運営に必要な事項を処理する。

【役員会】

第 9 条 役員会は、第 5 条に示す役員で組織し、次のことを処理する。

- 1 本会の運営、事業等の計画 2 議案の作成
3 顧問、参与の推薦 4 その他必要な事項

【会 計】

第 10 条 本会の経費は、会費をもって充てる。

【顧問及び参与】

第 11 条 本会に、顧問及び参与を置くことができる。

顧問及び参与は、役員会の推薦により、会長が委嘱する。

【会の運営に関し必要な事項】

第 12 条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、役員会で定める。

付 則

- 1 この規約は、平成 15 年 8 月 22 日からこれを施行する。

令和 7 年 4 月 1 日改正

三河教育懇談会の概要

- 1 日 時 令和7年8月8日(金) 午後5時～
- 2 会 場 岡崎ニューグランドホテル TEL 0564-21-5111
- 3 主 催 三河教育懇談会
三河部都市教育長協議会、三河部町村教育長協議会
三河小中学校長会、三河教育研究会
愛知県教育委員会三河出向者会、三河教頭会
三河小中学校PTA連絡協議会、三河教員組合連絡協議会
- 4 主 賓 愛知県知事 大村 秀章 様
- 5 来 賓 岡崎市長 内田 康宏 様
愛知県教育委員会 教育長 川原 馨 様
同 教育長職務代理者 河野明日香 様
同 委員 野杵 晃充 様
同 委員 内田 智子 様
同 委員 片山 裕之 様
同 委員 田村 太一 様
同 事務局長 坂川 智 様
同 次長兼管理部長 高木 健一 様
同 教育部長 橋本 具征 様
同 教育改革監 佐藤 孝 様
同 義務教育課長 尾本 国博 様
愛知県学校給食会 理事長 高橋 伸至 様
愛知県教育・スポーツ振興財団 理事長 岡本 範重 様
日本教育公務員弘済会 愛知支部長 岩間 博 様
- 6 参 加 者 市町村教育委員会教育長
三河小中学校長会
三河教育研究会
愛知県教育委員会三河出向者会
三河教頭会
三河小中学校PTA連絡協議会
三河教員組合連絡協議会
教育関係諸団体

7 次 第

進行：三河小中学校長会副会長（山本 武志）

【知事が最後までみえる場合】

※敬称略

- | | | | |
|------|---------|---------------------|-------|
| (1) | 開会のことば | 三河教頭会長 | 鈴木 善博 |
| (2) | 主催者代表挨拶 | 三河部都市教育長協議会長 | 壁谷 幹朗 |
| (3) | 来賓挨拶 | 岡崎市長 | 内田 康宏 |
| (4) | 来賓紹介 | 三河教育研究会長 | 夏目 貴司 |
| (5) | 知事講話 | 愛知県知事 | 大村 秀章 |
| (6) | お礼のことば | 三河小中学校長会長 | 加藤 嘉一 |
| (7) | 乾 杯 | 三河教育懇談会顧問 | 岩月 慎自 |
| (8) | 懇 談 | | |
| | | | |
| (9) | 万 歳 | 三河部町村教育長協議会長 | 池田 和博 |
| (10) | 閉会のことば | 三河小中学校 P T A 連絡協議会長 | 鈴木 貴晶 |

【知事途中退席の場合】

- | | | | |
|------|--------|---------------------|-------|
| (9) | 万 歳 | | |
| | 知事退席時 | 三河部町村教育長協議会長 | 池田 和博 |
| | 全 体 | 三河教員組合連絡協議会長 | 伊藤 将生 |
| (10) | 閉会のことば | 三河小中学校 P T A 連絡協議会長 | 鈴木 貴晶 |

8 会費 8, 0 0 0 円

9 当日の日程

- | | |
|--------------|-------------|
| ○役員・理事会・評議員会 | 1 4 : 0 0 ~ |
| ○主催団体打合せ | 1 6 : 0 0 ~ |
| ○三河教育懇談会 | 1 7 : 0 0 ~ |

10 その他

三河教育懇談会運営案

6月4日現在案

[期日] 令和7年8月8日(金)

[会場] 岡崎ニューグランドホテル 3F「飛竜の間」

1 役員・理事会・評議員会	14:00～15:45	3F「飛竜の間(中1・2)」
----------------------	--------------------	-----------------------

2 主催団体代表打合せ	16:00～16:20	2F「翼の間」
--------------------	--------------------	----------------

[出席者] 会長 壁谷(市教育長)
 副会長 池田(町村教育長)・加藤(校長会)・夏目(三教研)
 顧問 岩月
 庶務 山本(校長会副)・遠山(三教研副)・鈴木(教頭会)
 会計 安藤(校長会)・伊藤(組合)
 会計監査 兼子(三顧問)・尾本(県出向)・●●(三P長)
 担当者 山上(校長会)・齋藤(校長会)・村井(附属)

3 三河教育懇談会	17:00～19:00	3F「飛竜の間」
------------------	--------------------	-----------------

(1) 会場設営 15:55～16:30

- 伊藤・齋藤・山田・(山上)
- ◇ 横看板(ポール有)・座席表・来賓席札作成(伊藤)
- ◇ 会場設営状況点検・確認
横看板、屏風、知事用椅子、レクチャーテーブル、水差、
おしぼり、マイクの確認

※来賓案内(東岡崎駅) 15:55～16:30

- (県) 深津、小山、岡崎 ※中改札前1、誘導1、タクシー乗車場所1

(2) 一般受付・案内 16:30～16:50 (3Fロビー)

- 教育長・教育諸団体・教育事務所長・県教委(本庁)課長補佐以上、センター部長以上

2F「ふじの間(東)」へ案内(靴を脱ぐ必要あり)

受付 (三河) 山本・緒方・安藤 (三教研) 遠山
 控室案内 (三河) 伊藤孝・山田 (附属) 村井

- その他一般

3F「飛竜の間」へ案内

受付 (三河) 都築・伊藤克・杉本
 案内 (附属) 校長・副校長は3Fロビーで一般会員を案内

(3) 主賓・来賓受付・案内 16:30～16:55 (玄関ロビー)

受付 (三河) 稲留 (県) 村越・小山
 ◇ 胸章[主賓1ピンク、来賓(14)赤](伊藤克)
 ◇ 主賓・来賓手土産(お茶 ※ホテルに注文)
 要項の封筒に手土産を入れ、受付で渡す。
 手土産手配—杉本 封筒用意—齋藤

控え室案内 (三河) 榊原 (県) 吉田・(兼子)

3F「瑞雲の間」へ案内

※ 大村知事到着 16:45 予定(未定) (公用車の予定)

・主賓、来賓接待、案内 16:30～16:55 (3F「瑞雲の間」)

○壁谷・池田・加藤・兼子・夏目・(岩月)

・秘書、運転手、SP対応 16:30～16:55

○杉本・伊東

◇ 知事・岡崎市長・県教育長等に、公用車の駐車場を確保
(ホテルに依頼 3台分 + 会員用1台分)

◇ 秘書と運転手を控え室(2Fさつき)へ案内

◇ 弁当手配(ホテルへ) SPの分も入れて3人分
(秘書・運転手・SPへの手みやげはなし)

(4) 入場案内

◇ 一般 16:35頃 齋藤・伊藤克(3Fロビーの一般会員へ声掛け)

16:40頃 伊藤孝・山田(2Fふじの間の方々へ声掛け、誘導)

◇ 来賓 16:50頃 壁谷・池田・鈴木貴・尾本(声掛け、誘導)

◇ 主賓 16:55頃 加藤・兼子・夏目

※山本は司会・鈴木善は開会のことば準備

(5) 三河教育懇談会 別紙進行案による。

(6) 主賓(知事)見送り ()頃 加藤・兼子・夏目・稲留

(7) 来賓のタクシー配車 タクシー予約(4～5台) 手配:会計

(8) 会計(集金および支払い)

○ 安藤・杉本・手島・伊藤

4 会費の納入について

- ◎ 一括納入 各郡市校長会(校長会、三教研分を郡市校長会会計)
三河教頭会(教頭会会計)
三河教員組合(三河教員組合会計)
三教研事務局(各附属学校)
県教委等出向者
(本庁・教育センター・西三河教育事務所・東三河教育事務所)
(文部科学省・教育諸団体への出向者含む)
※受付にて会計担当者に提出

- ◎ 個別集金 市町村教育長 2階 ふじの間
PTA連絡協議会 3階 会場前
教育関係諸団体 2階 ふじの間

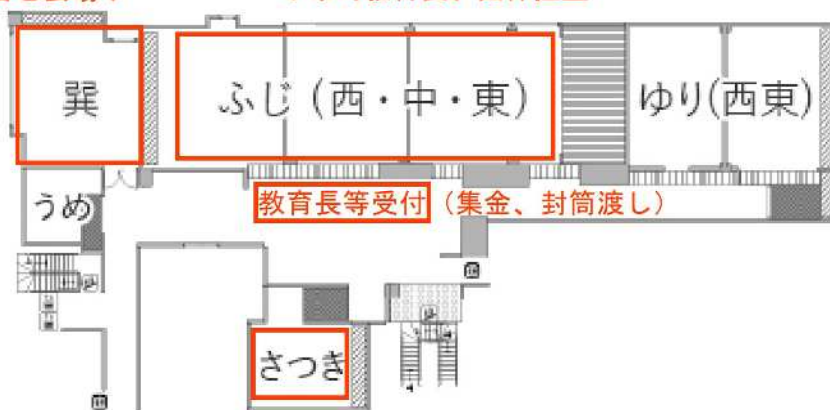
会場略図

- 1 F
- ・長机 1 8名の来賓受付
→ 受付でキャッチし、3階瑞雲の間に案内
 - ・長机 2 教育長、各種団体案内用
→ ここでキャッチし、2階受付に案内および集金
ふじの間に案内

2F

主催者打合せ会場 ↓

↓ 市町教育長、団体控室



↑ 知事秘書、運転手、SP控室 (弁当3用意)

3F (飛竜の間)

役員・理事・評議員会会場

来賓 8 名控室 ↓

↓ 懇談会会場



令和7年度 三河教育懇談会参加要請予定者数

(令和7年 6月4日)

※網掛けは本日案内を送付

番号	各 種 団 体 名	本年度		R5	
		案内 送付数	出席者	案内 送付数	出席者
1	主賓・来賓	15		17	8
2	市町村教育委員会教育長	18		18	16
3	三河小中学校長会(役員・理事・評議員、専門副委員長)	84		108	92
4	三河教育研究会(役員)※含附属以外の会計2名	9		8	28
5	同 (支部長)	12		10	
6	同 (部会長・委員長)	17		13	
7	同 (幹事・庶務・会計⇒附属)	7		7	
8	愛知県教育委員会三河出向者(含義務課長)	59		54	35
9	三河教頭会	24		24	23
10	三河小中学校PTA連絡協議会	8		8	4
11	三河教員組合連絡協議会	23		23	22
12	教育関係諸団体	12		20	11
合 計		288	0	310	239

(兼務者等重複を除く)

令和7年6月4日

三河小中学校長会

役員・理事・評議員 様
専門委員会副委員長 様

三河教育懇談会長

壁 谷 幹 朗

「令和7年度 三河教育懇談会」の開催について（御案内）

向暑の候、貴職におかれましては、いよいよ御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、三河教育の推進のために御理解と御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、みだしの会を下記のように開催いたします。御多用のこととは存じますが、御出席くださいますよう御案内申し上げます。

記

- | | | |
|---|-----|---|
| 1 | 日 時 | 令和7年8月8日（金） 午後5時00分 |
| 2 | 会 場 | 岡崎ニューグランドホテル
岡崎市康生町5 1 5－3 3 TEL 0 5 6 4－2 1－5 1 1 1 |
| 3 | 内 容 | 教育講話
【講師】愛知県知事 大 村 秀 章 様 |
| 4 | 会 費 | 8, 0 0 0円 |
| 5 | 備 考 | ・ 出欠を7月9日（水）までに当該郡市代表の先生までお知らせください。
・ 出席できない場合は、できる限り、代理の方(同一郡市内の校長先生)の御出席をお願いいたします。
・ 出席者の服装につきましては、「ネクタイなし、上着着用」にてお願いします。 |

（ 問い合わせ先：田原市立田原中学校 山上高弘 TEL 0531-22-1218 ）

令和5年度 教育懇談会について（反省まとめ）

○開催時期・時間帯

- ・以前は盆明けの時もありましたが、今回と同じ時期の方がありがたい。具体的には、8月10日以前がよい。
- ・知事の予定によるところが大きく、現状でよい。
- ・よい時間帯であった。
- ・会場を工夫し、懇談会までの1時間半の時間をもっと短縮できたらよいと思う。
- ・午後5時開会、午後7時終了がきっちりできていてよかった。

○会場

- ・同じでよい。岡崎で行うなら、ここが一番よい。
- ・知事にお越しいただくにも、三河で集まるにもちょうどよい場所であつた。
- ・参加人数に対して、やや手狭に感じる。

○参加者・案内

- ・妥当であった。来年度も、今年度の人数でよい。
- ・少し減らせると、会場の広さとバランスもよくなる。また、準備も軽減できる。
- ・約230名の参加者と聞いたが、日常的にはこれくらいで開催できるとよいが、コロナ流行も耳にしており、若干の心配もあった。感染拡大防止のため、人数を減らすことも、状況を見て検討する必要があるのではないか。

○講話

- ・参加者が知りたい教育情勢に関する内容がもう少しいただければと思った。
- ・知事の講話に異を唱えるものではない。
- ・20分という時間でよいと思います。
- ・知事講話後の三河小中学校長会会長によるお礼の言葉は、典礼マイクではなく、演台のマイクで行いたい。そのためには、講話後の知事には壇上に残っていただく必要がある。講話中は椅子を隠しておいて、講話終了後に誰かが壇上に椅子を用意するとよい。
- ・県の発展のため、広い視野で様々な施策を展開する大村知事の熱意が伝わった。
- ・知事ははっきりお話されないので、少し聞きにくいところもあった。

○懇親会

- ・大村知事が三河を大事にしてくださいと雰囲気があるのでよいと思います。
- ・長くなくてちょうどよい。
- ・食事が一人ずつの入れ物に入っていて、とてもよかった。
- ・会費8,000円の料理としては疑問がある。
- ・食事の時間が取れたのは、大変喜ばしい。
- ・食べる時間が確保されていてよかったです。

○その他

- ・準備に係る時間、苦勞が少しでも減らせるとよい。

全国連合小学校長会は、結成以来、我が国の小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ねるとともに教育条件の整備に努め、多大な成果をあげてきた。昨年度は、中央教育審議会特別部会答申が出され、処遇改善等教師を取り巻く環境整備の方向性が示された。また、次期学習指導要領についても、中央教育審議会へ諮問がなされた。今年度は、改訂に向けて本格的な検討が始まり、今後の小学校教育の方向性が示される重要な年である。

これからの社会は、産業のシステムが急速に変化するとともに、少子高齢化・人口減少が急激に進み、社会の在り方も今まで以上に変わることが予測される。また、学校の役割が再認識され、多様性を包摂し、子ども一人一人の意欲を高め、可能性を開花させる教育の実現が求められている。

校長は、このような状況を深く認識し、自らの使命に誇りをもち、リーダーシップを発揮し「自ら未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進」に向け、学校経営の更なる充実に努めなければならない。

そのため本会は、新たな時代にもふさわしい教育の実現に向け、組織の総力をあげて調査・研究活動を充実させるとともに、積極的に施策提言を行い、もって国民の信託に応える必要がある。また、東日本大震災をはじめとする災害からの教育復興を促進するために、継続的な支援を国や自治体に要望していくことは我々の責務である。

私たちは、ここに、「子どもたちと学校の未来を描くビジョン」をもち、確かな実行力をもって学校づくりを進める校長会」として会員の総力を結集し、左記事項の実現に全力を傾注することを、第七十七回総会の総意をもって宣言する。

記

- 一、確固たる経営方針に基づく、創意ある教育活動と信頼される学校経営の充実
- 一、知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力や人間性等の涵養を図る社会に開かれた教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一、豊かな心や健やかな体の育成、いじめ・不登校等の解消を図る生徒指導体制の充実
- 一、個のニーズに応じた特別支援教育の充実と、児童一人一人の自己実現を目指す教育の推進
- 一、ICTをデジタル学習基盤として効果的に活用するためのGIGAスクール構想の推進・充実
- 一、自然災害等からの復興促進及び風評・風化対策と防災教育の推進
- 一、義務教育費国庫負担制度の堅持及び国庫負担率二分の一の復元、人材確保法の堅持
- 一、法改正等による教職員の基礎定数及び加配定数の拡充、教科担任制の拡充に伴う専科教員等の配置の充実
- 一、児童に対してより効果的な教育活動を行うための学校における働き方改革の実現
- 一、管理職・教職員の人的条件整備や処遇の改善、教員を志す優秀な人材の確保
- 一、デジタル教科書等への対応及び教科書無償給与制度の堅持
- 一、児童の安全・安心を保障する人材の確保、施設設備等の充実

令和七年五月二十三日

全国連合小学校長会 第七十七回 総会

宣言・決議

宣 言

今日、我が国の教育は人格の完成を目指し、伝統と文化を尊重するとともに、豊かな人間関係で満たされる持続可能な社会の創り手を育成する使命を担っている。

私たちは、自然災害や新たな感染症の発生、グローバル化の進展や急速な技術革新など社会状況が変化する中、新しい時代の中学校教育の課題に対応し、教育基本法をはじめとする教育関連法規や学習指導要領の趣旨を踏まえ、自らの責任において全日中新教育ビジョンに基づく学校からの教育改革を推進し、教育の真価を示さなければならない。

全日本中学校長会は、教育改革の推進と当面する諸課題の解決に努め、新たな中学校教育の創造を目指し、国民の負託に応えることを宣言する。

決 議

第76回総会に当たり、以下の事項を決議し、その実現を期する。

- 一、人間尊重の精神に徹し、「社会を生き抜く力」とともに「よりよい社会を形成する力」を育む教育を推進する。
- 一、全日中新教育ビジョンを踏まえ、学習指導要領に基づく特色ある教育課程を編成・実施・評価・改善し、確かな学力の定着、豊かな心と健やかな体の育成を推進する。
- 一、現在の学校教育課題に即した研修を充実し、教職員の資質・能力の向上と使命感の高揚に努める。
- 一、創意ある教育活動を展開し、家庭・地域社会の信頼に応える教育を実現するため、人的措置をはじめ確固とした教育条件の整備・充実を期する。
- 一、「教科書無償給与制度」「義務教育費国庫負担制度」及び「人材確保法」の堅持を要請し、教育水準の維持向上を期する。
- 一、新しい時代に求められる学校づくりに向けてリーダーシップを発揮するとともに、「学校における働き方改革の推進」「教員の勤務実態を踏まえた環境整備」を要請し、有効かつ持続可能な指導・運営体制の構築を期する。
- 一、東日本大震災をはじめ、能登半島地震など近年多発する自然災害等により被害を受けた地域の復興を期し、教育活動の充実に向けた支援と全国各地区・各学校における防災教育・安全教育の一層の充実を努める。

令和7年5月15日

第76回 全日本中学校長会 総会

(案)

令和7年6月4日

公益財団法人愛知教育文化振興会

理事長 加 藤 嘉 一 様

三河小中学校長会長

加 藤 嘉 一

事業の推薦について

令和7年4月10日付けで申請のあった事業の推薦については、下記のとおりこれを許可します。

記

1 推薦名義 三河小中学校長会

2 事業名 令和7年度「みかわ彩発見絵画コンクール」

3 内 容

(1)「春・夏の部」

各学年とも、「くらし」「まつり」「ふるさと」の3つのテーマのうちから1つを選び、題材とする。

特別支援学級は、上記3つおテーマに「すきなひと、もの、こと」を加える。

(2)「秋・冬の部」

「春・夏の部」と同じ題材とする。

4 作品応募期間

(1)「春・夏の部」

令和7年8月21日（木）～令和7年9月4日（木）

(2)「秋・冬の部」

令和7年12月15日（月）～令和8年1月13日（火）

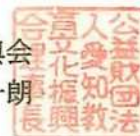
※ (1)、(2)ともに土、日、祝日を除く

以上

令和7年4月10日

三河小中学校長会
会長職務代理者
加藤 嘉一 様

公益財団法人愛知教育文化振興会
理事長 彦坂 登一朗



令和7年度「みかわ彩^{さい}発見絵画コンクール」推薦についての申請書

下記の事業について、三河小中学校長会の推薦をいただきたく申請いたします。

記

事業名	令和7年度「みかわ彩 ^{さい} 発見絵画コンクール」
趣旨	子どもたちが、絵画による表現に関心をもち、技能を向上させるとともに感性を陶冶する機会とするために、広く作品を募集してコンクールを行う。
対象	三河在住あるいは在学の小学生
内容	「春・夏の部」「秋・冬の部」とも、次の3つのテーマのうちから1つを選び、季節感のある題材とする。 ・「くらし」 ・「まつり」 ・「ふるさと」 特別支援学校・特別支援学級は、上記3つのテーマに「すきなひと、もの、こと」を加える。
募集期間	① 「春・夏の部」 令和7年8月21日（木）～9月4日（木） （土・日・祝日を除く） ② 「秋・冬の部」 令和7年12月15日（月）～令和8年1月13日（火） （土・日・祝日を除く）
他の推薦機関・団体	三河小中学校PTA連絡協議会（予定）
添付書類	・令和7年度「みかわ彩 ^{さい} 発見絵画コンクール」実施要項 ・令和7年度「みかわ彩 ^{さい} 発見絵画コンクール」ちらし（案）



令和7年度「みかわ彩発見絵画コンクール」実施要項

1 趣旨

三河地域の児童が、絵画による表現に関心を持ち、技能を向上させるとともに感性を育む機会とするために、広く作品を募集してコンクールを行う。

2 応募対象 三河在住あるいは在学の小学生

3 応募内容

(1) テーマ

「春・夏の部」「秋・冬の部」共通

各学年とも、3つのテーマのうちから1つを選び、題材とする。テーマは

- ・「くらし」（学校や家庭での行事や遊びを取り入れて描く）
- ・「まつり」（地域で行われている祭りの様子を描く）
- ・「ふるさと」（地域の自然や文化財を取り入れて描く）

※特別支援学校・特別支援学級は、上記3つのテーマに「すきな ひと、もの、こと」を加える。

(2) 応募期間

「春・夏の部」令和7年 8月21日(木)～令和7年9月 4日(木)（土・日・祝日を除く）※必着

「秋・冬の部」令和7年12月15日(月)～令和8年1月13日(火)（土・日・祝日を除く）※必着

(3) 応募方法

- ① 作品のサイズは、四つ切り画用紙とする。
- ② 画材は、クレヨン又は水彩絵の具、版画(八つ切り用紙可)とする。
※特別支援学校・特別支援学級は、画材は問わない。
- ③ 応募は、1人1点とする。
- ④ 応募用紙に必要事項を記入し、作品の裏に貼付する。
- ⑤ 当法人事務局に持参するか、送付する。
- ⑥ 個人または学級・学校単位等での応募を受け付ける。

(4) 応募先

〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東 170 番地 1

公益財団法人愛知教育文化振興会 「みかわ彩発見絵画コンクール係」

電話：0564-51-4819 <https://www.bunsin.org>

(5) その他

- ① 作品に関する著作権等の権利は、「公益財団法人愛知教育文化振興会」に帰属する。
- ② 応募した作品は、返却しない。
- ③ 優秀作品は、本法人が発行する夏・冬休み日誌の表紙絵等として採用する。
- ④ 各校に啓発ちらしを配付する。
- ⑤ 応募用紙は、ちらし(裏面)をコピーまたはホームページから印刷する。

4 審査会及び審査員

「春・夏の部」審査会：令和7年9月18日(木) 13:30～ 第1～3会議室

「秋・冬の部」審査会：令和8年1月16日(金) 13:30～ 第1～3会議室

審査員：委員長 三河教育研究会造形部会長 委員 三河教育研究会造形部会経験者

5 表彰 (各学年 230～530 点の応募)

- (1) 最優秀賞(各学年1点) (2) 優秀賞(各学年2点) ……表彰式にて授与
- (3) 佳作(各学年5点程度) (4) 奨励賞(各学年10点程度) ……所属校長宛に送付
(2月中旬予定)
- (5) 特別支援学校・特別支援学級 各学年で、「審査員特別賞」を数点…所属校長あてに送付
- (6) 特別賞「学校賞」(3校程度、参加児童に参加賞)
*全校での優れた取り組みに対して授与 ……学校に出向き授与

6 審査結果の公表

受賞者にはホームページ等で連絡する。教育情報誌「教育と文化」にも掲載する。

「春・夏の部」令和7年9月下旬 「秋・冬の部」令和8年1月下旬

7 作品展示並びに表彰式 会場：愛知教育文化振興会(三河教育会館)

- (1) 作品展 令和8年2月 6日(金)・7日(土) 最優秀賞、優秀賞、佳作の作品を展示する。
- (2) 表彰式 令和8年2月 8日(日) 最優秀賞、優秀賞を表彰する。

令和7年度 さい
みかわ 彩 発見

あなたのくらし・まつり・ふるさとを 描いてみませんか?

絵画コンクール

春・夏の部

最優秀作品 [令和6年度]



1年



2年



5年

秋・冬の部

最優秀作品 [令和6年度]



3年



4年



6年

春・夏の部

令和7年

秋・冬の部

令和7年

令和8年

応募期間

※土・日・祝日を除く

8月21日(木) ▶ 9月4日(木)

12月15日(月) ▶ 1月13日(火)

応募先

〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東 170 番地 1

公益財団法人愛知教育文化振興会「みかわ彩発見絵画コンクール係」

TEL 0564-51-4819 <https://www.bunsin.org>



趣旨

子どもたちが、絵画による表現に関心をもち、技能を向上させるとともに感性を育む機会とします。

主催

公益財団法人愛知教育文化振興会

推薦

三河小中学校長会・三河小中学校 PTA 連絡協議会

応募対象

三河在住あるいは在学の小学生

応募内容

テーマ

「春・夏の部」「秋・冬の部」とも、次の3つのテーマのうちから1つを選び、季節感のある題材とする。

- ・「くらし」(学校や家庭での行事や遊びを取り入れて描く)
- ・「まつり」(地域で行われている祭りの様子を描く)
- ・「ふるさと」(地域の自然や文化財を取り入れて描く)

特別支援学校・特別支援学級の児童は、上記3つのテーマに「すきなひと、もの、こと」を加える。

応募方法

- ① 作品のサイズは、四つ切り画用紙とする。
 - ② 画材は、クレヨン又は水彩絵の具、版画(八つ切り用紙可)とする。特別支援学校・特別支援学級は画材は問わない。
 - ③ 応募は、1人1点とする。
 - ④ 下記の応募用紙に必要事項を記入し、切り取って作品の裏に貼付する。
 - ⑤ 本法人事務局に持参するか、送付する。
 - ⑥ 個人または学級・学校単位等での応募を受け付ける。
- ※応募要項・応募用紙は、文振ホームページにも掲載してあります。

審査結果の公表

- ① 審査は学年ごとに行う。
- ② 審査結果について、「春・夏の部」は9月下旬に、「秋・冬の部」は、令和8年1月下旬に、ホームページにて発表する。

表彰

・最優秀賞 ・優秀賞 ・佳作 ・奨励賞 ・審査員特別賞 ・特別賞「学校賞」

※入賞作品には賞状等を贈呈します。(2月中旬予定)

その他

- ① 作品に関する著作権等の権利は、「公益財団法人愛知教育文化振興会」に帰属する。
- ② 応募した作品は、返却しない。
- ③ 最優秀作品は、本法人が発行する「夏・冬休み日誌」の表紙絵等として採用する。

＜切り取り＞

令和7年度「みかわ彩発見絵画コンクール」応募用紙

題 名			
テ ー マ	・「くらし」 ・「まつり」 ・「ふるさと」 ※3つの中から、1つに○をつけてください。 ・「すきなひと、もの、こと」 特別支援学校・特別支援学級の応募の場合		
学校・学年	立	学校	年
ふりがな			
氏 名	※楷書で記入してください。		
住 所	〒	市町村	
電 話	()	※日中に連絡がとれる連絡先を記入してください。	

※この応募用紙を切り取り、作品の裏に貼ってください。(コピー可)

(案)

令和7年6月4日

三河教育研究会

会長 夏 目 貴 司 様

三河小中学校長会長

加 藤 嘉 一

後援名義の使用について

令和7年5月28日付けで申請のあった後援名義の使用については、下記のとおりこれを許可します。

記

- 1 後援名義 三河小中学校長会
- 2 事業名 令和7年度 三河教育研究会 授業力養成講座
- 3 期日及び会場
 - 夏期講座
 - ・東三河地区 令和7年 8月25日(月) 豊橋市
 - ・西三河地区 令和7年 8月20日(水) 西尾市
 - 秋期講座
 - ・東三河地区 令和7年11月 6日(木) 豊橋市
 - 令和7年11月 7日(金) 豊橋市
 - ・西三河地区 令和7年10月15日(水) 西尾市
 - 令和7年11月 5日(水) 碧南市

以上

令和7年5月28日

三河小中学校長会長 様

三河教育研究会

会長 夏目 貴司

後援名義使用申請書

下記の事業について、愛知教育文化振興会の後援名義使用を許可いただきたく申請いたします。

記

事業名	令和7年度 三河教育研究会 授業力養成講座
目的と方法	教員の授業力向上と、中堅教員としての資質向上を図るため、次の内容の研修を実施する。 1 夏期講座（講師を招聘しての講義） 授業研究を中心に、子どものとらえ方や指導方法、授業構想や分析の仕方、教師支援のあり方、発問や教材提示の効果的な方法など、実践的な研究理論を学ぶ。 2 秋期講座（授業を通しての実践研究） 子どもの学びのとらえ方や、指導・評価のあり方などを具体的な授業場面を通して学び、授業力向上を図る。
期日 および 開催地	○夏期講座 ・東三河地区 令和7年 8月25日（月）豊橋市 ・西三河地区 令和7年 8月20日（水）西尾市 ○秋期講座 ・東三河地区 令和7年11月 6日（木）豊橋市 令和7年11月 7日（金）豊橋市 ・西三河地区 令和7年10月15日（水）西尾市 令和7年11月 5日（水）碧南市 ※期日に変更する場合は随時お知らせします。
参加者	三河の中堅教員を対象とし、参加者を募集する。勤務地区に関わらず自由応募、定員制とする。 ※ 定員 東西 各会場20名程度
他の後援 機関・団体	豊橋市教育委員会 西尾市教育委員会 碧南市教育委員会 愛知教育文化振興会

令和7年度 三河小中学校長会 専門委員会・部会組織名簿

委員会	委員長・部長 (勤務校)	副委員長・副部長 (勤務校)	庶務 (勤務校)	会計 (勤務校)	担当副会長 (勤務校)
法 制	大山 貴弘 (豊田・豊南中)	伊藤 健 (幸田・坂崎小)	永井 隆 (西尾・佐久島しおさい)	松永 博司 (安城・二本木小)	山本 武志 (豊橋・八町小)
教育条件	岩月 章 (豊田・朝日丘中)	太田 幹也 (岡崎・葵中)	住田 政大郎 (豊橋・章南中)	新美 貴宏 (みよし・三吉小)	山本 武志 (豊橋・八町小)
学校経営	岡本 信一郎 (みよし・北中)	鈴木 宏卓 (豊橋・五並中)	村山 由久 (知立・知立中)	熊谷 清一 (岡崎・梅園小)	伊藤 孝明 (蒲郡・蒲郡中)
進 路	山中 剛 (幸田・幸田中)	山岸 芳樹 (碧南・中央中)	竹端 達治 (豊田・猿投台中)	成田 隆行 (岡崎・六ツ美北中)	伊藤 孝明 (蒲郡・蒲郡中)
保健体育	山本 健太郎 (安城・安城北中)	宮本 伸一 (豊田・高岡中)	中矢 政幸 (豊橋・鷹丘小)	大久保孝治 (岡崎・山中小)	稲留 雄一 (安城・安城中部小小)
福祉安全	西條 かすみ (みよし・南部小)	山田 圭 (豊田・藤岡中)	原田 真弓 (岡崎・矢作西小)	堀井 章行 (豊橋・北部中)	榊原 ともみ (新城・千郷中)
給 食	服部 智子 (新城・新城中)	波田 章博 (安城・安城南部小)	明田千恵美 (豊橋・石巻小)	松原 秀敏 (豊田・崇化館中)	稲留 雄一 (安城・安城中部小小)
生徒指導	鈴木 常浩 (豊橋・青陵中)	松本 康利 (蒲郡・中央小)	今田 良人 (豊田・井郷中)	板倉 眞介 (岡崎・北中)	伊藤 孝明 (蒲郡・蒲郡中)
特別支援	伊藤 賢修 (北設楽・設楽中)	清水 康好 (刈谷・住吉小)	亀甲 真史 (豊川・千両小)	奥村 那奈 (蒲郡・蒲郡西部小)	榊原 ともみ (新城・千郷中)
修学旅行 特別	鳥居 貴之 (安城・桜井中)	石川 幸浩 (蒲郡・塩津中)	長谷川勝一 (岡崎・東海中)	福本 秀昭 (豊川・中部中)	***** *****
教育課題 特別	岡 秀之 (岡崎・南中)	***** *****	***** *****	***** *****	***** *****
東陸中 特別	神戸 勝一 (豊田・若園中)	***** *****	***** *****	***** *****	***** *****

令和7年度 各種関係団体役員名簿

三河教頭会

役職名	氏 名	勤務校	役職名	氏 名	勤務校
会 長	鈴木 善博	岡 崎・六ツ美中	会 計	鈴木 誠直	みよし・中部小
副 会 長	石川 清二	西 尾・矢田小	会計監査	朱山 智之	豊 田・梅坪小
	大塚 博康	蒲 郡・三谷中		大矢 幹人	新 城・作手小
庶 務	橋本 宰	知 立・八ツ田小			
研修庶務	坂上 竜也	安 城・桜林小			

三河小中学校PTA連絡協議会

役職名	氏 名	地区・所属校	役職名	氏 名	地区・所属校
会 長	鈴木 貴晶	蒲 郡・三谷中 P	会 計	猪飼三佐子	豊 川・中部中 P
副 会 長	杉浦 知光	西 尾・花ノ木小 P		緒方 秀充	豊 田・竜神中 T
	邑松 有紀	田 原・赤羽根中 P	会計監査	中西 知美	豊 田・西保見小 P
	加藤 嘉一	岡 崎・甲山中 T		三浦 一将	刈 谷・刈谷東中 P
書 記	古海 雅芳	安 城・里町小 P	顧 問	羽谷 拓朗	刈 谷・5 年度会長
	磯貝 裕子	碧 南・南中 P		今井 隆喜	安 城・6 年度会長
	小島 千典	蒲 郡・蒲郡東部小 T			

愛知県へき地教育研究協議会

役職名	氏 名	地区・所属校	役職名	氏 名	地区・所属校
会 長	加藤 嘉一	岡 崎・甲山中	事務局長	山本 昭彦	豊 田・足助小
副 会 長	山田 智章	豊 田・稲武中	同 次長	村松 敦雄	設 楽・清嶺小
	原田 基寛	北設楽・豊根中		林 京一	田 原・若戸小
会計監査	林 重彦	新 城・鳳来東小			
	倉知 高子	豊 田・新盛小			

三河教員組合連絡協議会

役職名	氏 名	地区・所属校	役職名	氏 名	地区・所属校
会 長	伊藤 将生	岡 崎・美川中	会 計	大竹 伸明	蒲 郡・形原中
副 会 長	寺島 剛敏	豊 田・寿恵野小	会計監査	志賀 一友	西 尾・吉良中
事務局長	小林 義人	豊 橋・岩西小		榎本 雅樹	豊 川・南部中

愛知県教員組合（三河関係者）

役職名	氏 名	地区・所属校	役職名	氏 名	地区・所属校
執行副委員長	鈴木 良則	刈 谷・朝日中	情宣部長	安藤 翔太	岡 崎・南中
執行副委員長	横見 智之	豊 田・根川小	女性部長	柴田 直子	安 城・安城西中
書記長	寺田 光裕	豊 橋・東部中	養護部長	成瀬 悦子	蒲 郡・中央小
組織法制部長	富田 直孝	碧 南・新川中	監査委員	伊藤 将生	岡 崎・美川中
厚生部長	伊藤 敦哉	豊 川・小坂井中			

令和7年度 三河小中学校長会 総会反省のまとめ

1 係

【庶務】

- ・ OB会長来賓の皆様の動向がわからず、係の皆様に迷惑をかけた。来年は、OB会長もハガキで出欠確認をするとうい。
- ・ OB会長も総会前の接待を行い、2階来賓を一緒にお連れした方がよい。
- ・ 岡崎市長の公務が重なり、会に間に合わないことがある。今年度は筆頭庶務が連絡を舞台袖で受けたため、会の進行に影響がでるところだった。今後はこのような場合、県役員の携帯をお知らせし、対応した方がよい。

【会場】

- ・ 舞台上の生花は、スタンドの花(税込20,000円 花一生花店)を舞台上手に置いた。演台横の台を省けてスペースができ、また華やかな感じでとてもよかった。
- ・ スタンド花の片付け方について、花屋さんの納品の際に打ち合わせて、舞台片付け係に報告しておく必要がある。
- ・ ツツイエンターテイメントに会場フロアの椅子並べを依頼した。事前の打ち合わせでは4人で作業するとのことであったが、当日7名の派遣があった(研修も兼ねて増員したとのこと)。きっちり測り、てきぱきした作業ぶりであった。見積もり段階では、ステージ上も依頼していたが、時間的に役員側の動きが早く、ステージ上は役員で行った。
- ・ ツツイエンターテイメントは9時30分から作業を開始し、座席表示も含め10時55分ころにフロアのイス並べは完了した。こちらが指示することはほとんどなく、巻き尺やテープ等も自前のものを使っていた。
- ・ 会長の了解を得て、令和8年度についてもツツイエンターテイメントに依頼済。

【進行】

- ・ 進行時間のあまさがあった。これは、県校長会長の挨拶をなくした時間を考えてなかったためであった。しかし、結果的に舞台の配置も15分取ることができよかった。
- ・ 感謝状贈呈の介添えの方がお一人なので、広蓋を2つ借用していただいたが、1つの広蓋に3名の方の賞状を重ねた。
- ・ 賞状、広蓋は下手側、額を入れる箱と袋は上手側に置く等、リハーサルをしてみても確認ができたので、リハーサルを通してやっていただけて助かった。

【来賓接待】

- ・ 来賓手土産は、ローレライで「お茶」を頼み、来賓の封筒に事前に入れておくことで対応した。

【来賓受付】

- ・ 受付自体は特に困ることはなかったが、仕事内容を担当の方から教えていただければ、11時からいなくても集合をもう少し遅らせてもよいかと思った。

- ・ 来賓を誘導するのに、県の担当の方もみえたので、来賓受付係というのはどういう位置づけなのか教えていただけるとよかった。

【来賓案内】

- ・ 来賓迎えについては、来賓の方が出る改札口を東岡崎駅の東改札口に限定でお願いできるとよい。（中央改札口はタクシーがそれほど待機していない。結果的に、スイングモールを通過して、東改札口のほうのタクシー乗り場に移動した（東改札口のほうがたくさんタクシーが待機している）
- ・ 東岡崎駅のタクシーについては、岡陸のほうがたくさん待機している。難しいと思うが、名タク限定ではなく、岡陸も対応できるとよい。
- ・ 東岡崎駅到着→タクシーご案内予定の来賓の方が自家用車で来ていたということがあった。来賓の方の変更は仕方ないが、会館と東岡崎駅の連携を密にしたい。
- ・ 総会については、来賓紹介後（表彰前）に、来賓が帰る or 302号室へ移動であった。ここの案内の人数が十分でないのは仕方ないが、けっこう大変であった。302号室に、係の方が待機していただいていたので助かったが、ホール出口、階段等に係が配置できるとよい。
- ・ 正面の玄関からだけでなく、別の出入り口、駐車場からなど、来場される来賓の方の入り口が異なるため、接待の係の方がローレライへの案内の手助けをしてくださり、有難かった。対応できる方が、一人でも多いとよいと感じた。
- ・ 特別来賓の方で、東岡崎の駅でうまく出会えず、受付状況の確認があった。失礼がないようにうまく連携がとれるとよい。

【駐車場】

（次年度以降も同様に）

- ・ 駐車場へ人の配置をしなかったが問題はなかった。
- ・ 案内表示も、場所を示す表示（A～F）のみを表示した。
- ・ 来賓駐車場は、本年度同様コーンのみでよい。

【会計】

○女性部担当者（接待）への支払い準備

- ・ 事前に金額が分かれば、支払いの準備ができるが、今年度は当日に購入するとのことで、支払い金額が未定であった。支払いができるよう金種を整え準備した。

○タクシー手配

- ・ 名鉄グループのタクシーチケットを準備し、前日から予約をしたり、当日も30分前から連絡を取ったりしたが、夕方時間帯は「予約」では受けつけてもらえなかった。
→タクシー会社を名鉄グループに特定しない方が確保しやすいかもしれない。
→予約時刻を伝えるのではなく、すぐ会場に来てもらいメーターをたおす方法に。

2 総会全般

- ・ 講演会時にできるだけ片付けを行う。駐車場張り紙の片付けを忘れがちなので気を付ける。（今回伊藤庶務補佐がPC担当だったため手島会計に外してもらった）

- ・ 16：30 にならないとローレライの準備ができないため、講演が早く終わってしまうと厳しい。来賓が入るように 302 を開けておくのもよいかもしれない。
- ・ 資料によっては、5～20 部不足したものがあり、当日、1 階のコピーで対応した。印刷部数については、今年度を参考に、予備数を追加するとよい。
- ・ 内容を詳細に示していただき大変ありがたかった。
- ・ 総会は、予定時刻より 10 分から 15 分早く進んでよかった。

令和7年6月4日

三河小中学校長会 郡市代表 様

三河小中学校長会長
加藤 嘉一

第42回（2025年度）教育研究助成及び交通遺児育英助成に係る
応募について（依頼）

このことについて、愛知県小中学校長会長より応募及び取りまとめの依頼がありました。
つきましては、下記のとおり応募手続きを進めますので、御理解、御協力くださいます
ようお願いいたします。

記

教育研究助成		交通遺児育英助成	
郡市代表 →各学校長	庶務よりメール送信した応募 要項及び応募票データを転送 して依頼する。	郡市代表 →各学校長	庶務よりメール送信した応募 要項及び応募票データを転 送して依頼する。
		各学校長 →対象保護者	応募要項及び応募票を印刷 して配付する。
各学校長	応募するか決める。	保護者	応募するか決める。
各学校長	応募する学校は、応募書類を 作成する。	保護者 →各学校長	応募する保護者は、必要書 類を作成して提出する。 <u>提出期限 月 日()</u>
各学校長 →郡市代表	応募書類を送付する。 <u>提出期限 月 日()</u>	各学校長 →郡市代表	応募書類を送付する。 <u>提出期限 月 日()</u>
郡市代表	応募書類を集約する。	郡市代表	応募書類を集約する。
郡市代表 →三河校長会 庶務(山田知恵子)	集約したものを郵送する。 <u>提出期限</u> <u>9月19日(金)</u>	郡市代表 →三河校長会 庶務(山田知恵子)	集約したものを郵送する。 <u>提出期限</u> <u>9月19日(金)</u>
三河校長会 庶務(山田知恵子) →県校長会 事務局	集約して送付する。 <u>提出期限</u> <u>9月26日(金)</u>	三河校長会 庶務(山田知恵子) →県校長会 事務局	集約して送付する。 <u>提出期限</u> <u>9月26日(金)</u>

【留意点】

- ◇応募数は制限しません。
- ◇県校長会の推薦は、採択を保証するものではありません。
- ◇空欄となっている「提出期限」につきましては、三河校長会庶務への提出期限（9月19日）から逆算して、各郡市で日程を決めてください。
- ◇選考結果につきましては、12月中旬に通知があります。
- ◇日本教育公務員弘済会愛知支部からは、「募集校も限られており、全国からの応募数が多い場合は内容重視の選考が行われ、不採用になる場合もある。」と連絡がありましたので、ご承知おきください。

【担当】豊田市立梅坪小学校 山田知恵子

〒471-0064 豊田市梅坪町1-5-1 ☎0565-31-4882

(参考) 教育研究助成及び交通遺児育英助成に係る応募の推移

年 度	三河からの応募実績
元年度	【教育研究助成】 岡崎市立常磐東小学校 岡崎市立福岡中学校 【交通遺児育英助成】 2名
2年度	【教育研究助成】 岡崎市立広幡小学校 碧南市立大浜小学校 豊田市立加納小学校 【交通遺児育英助成】 2名
3年度	【教育研究助成】 新城市立黄柳川小学校 岡崎市立新香山中学校 岡崎市現職研修長期欠席対策部会 【交通遺児育英助成】 3名
4年度	【教育研究助成】 応募校なし 【交通遺児育英助成】 3名
5年度	【教育研究助成】 豊川市立金屋小学校 岡崎市立南中学校 【交通遺児育英助成】 4名
6年度	【教育研究助成】 豊橋市立中部中学校 【交通遺児育英助成】 2名

第42回（2025年度）

教育研究助成 応募要項

● 目 的

公益財団法人東京海上日動教育振興基金(2009年10月に名称変更)は、日動火災海上保険株式会社(現東京海上日動火災保険株式会社)の創業70周年を記念して1984年8月に設立されました。

当財団は、次代を担う青少年が心身ともに健やかに育ち、生きる力を身に付けることを願い、初等中等教育に携わる教職員の教育研究成果に対する助成を通じて、教育の発展と充実に寄与したいと考えております。

学校教育の現場において意欲的に取り組み、創意工夫を凝らした指導によって顕著な成果を収めておられる実践的な教育研究に対し助成を行います。

積極的なご応募をお待ちしております。

● テーマ

応募していただく「テーマ」は任意であり特定しておりません。創意工夫し研究・実践した作品をお寄せください。

近年応募されたものでは、「授業・指導方法の工夫・改善」や「総合的な学習の時間」、特色ある学校作りを目指した「地域社会・企業と学校との連携」、「SDGs」、「働き方改革」など、教育をめぐる諸情勢に対応した様々な分野にわたる課題への取り組みが寄せられております。

2024年度対象作品から、それぞれの地域・学び手に即した優秀な取組みを「実践事例選」として刊行し、あわせまして当財団ホームページにも掲載しております。多くの皆様にご一読いただければ幸甚です。応募に際しての参考としてご活用ください。

● 当財団の助成が意欲ある教職員の励みとなり学校活性化の一助となれば誠に幸いです。

公益財団法人 **東京海上日動教育振興基金**

募集概要

募集区分

学 校 研 究	80校	助成金 1校	15万円贈呈
団 体 研 究※	10団体	助成金 1団体	15万円贈呈
個 人 研 究	20名	助成金 1名	7万円贈呈

助成対象となる研究論文の中で、それぞれの地域・学び手に即する優れた取組みが認められる作品(数作品)については、助成金10万円を追加で贈呈します。

※団体とは、教職員が構成する恒常的に設置されている研究団体とします。

対象者の範囲

国公立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校ならびにそこに勤務する教職員

応募方法

- ① 研究論文には「応募票」を添えてご提出ください。
(記入要領は裏面および別紙記入例を参照)
「応募票」および記入例は当財団のホームページからも印刷できます。
- ② 下記の団体の推薦を受けたものを応募として受付し選考します。
推薦団体は都道府県によって異なりますので、推薦団体をご不明な場合は、弊財団にお問い合わせください。
 - 都道府県および政令指定都市の教育委員会
 - 都道府県の国公立の小学校・中学校・高等学校の校長会
 - 公益財団法人日本教育公務員弘済会の一部の都道府県支部
- ③ 上記②の推薦団体を経由して研究論文をご提出ください。
(インターネットからの応募はできませんのでご注意ください。)

推薦団体から財団への締め切り

2025年10月20日財団必着(推薦団体の締切日とは異なるのでご注意ください。)

選 考

当財団の選考委員会で選考します。

発 表

2025年12月中旬(推薦団体と応募者宛てに採否を直接ご通知します。)

助成金の贈呈と使途報告

2025年12月中旬に指定の口座に振り込みます。(合わせて表彰状を贈呈します。)
助成金の使途については、別途「使途報告書(領収証添付)」により2026年3月までに
ご報告いただきます。(報告用紙は助成の決定通知と共にお送りします。)

応募の取りまとめに当たって

応募の要点

- ① 募集区分の如何にかかわらず、学校教育の中で子ども達のために取り組まれている実践的な教育研究であること。
- ② 「文字数は最大10,000字程度」、「である調」で簡潔に記述してください。
記述は、以下を参考にしてください。
 - 表紙 一枚目（研究題目・目次・学校名または団体名・氏名を明記する。）
 - 研究の主旨、対象者（学年・クラスなど）
 - 研究の内容、方法
 - 具体的な指導とポイント
 - 研究・実践の成果
 - 今後の課題、その他

} 文字数は10,000字程度
(表紙部分を除き)

 - ◎A4判で、パソコン・ワープロ・手書きいずれも可
 - ◎特殊な専門用語や独自にネーミングした用語には必ず説明を加えてください。
 - ◎CD-ROM・USBメモリー等による応募は受け付けません。
 - ◎ファイルに入れたり、立派な表紙をつけることは避けてください。
- ③ 添付資料は研究論文に関連したものだけとし、極力少なく（A4版2～3枚限度）してください。

注意事項

- ①
 - ・提出された研究論文および添付資料は返却しません。
 - ・提出された研究論文および添付資料のうち、助成対象となるものについては、著作権（著作権法第27条、第28条に規定される権利を含みます。）は当財団に譲渡されます。
 - ・追加で助成金を贈呈した研究論文（数作品）については、「実践事例選」として刊行します。「実践事例選」刊行に際し、論旨に反しない範囲で研究論文および添付資料を編集することがあります。
- ② 実践研究の研究期間が古い作品は、応募をご遠慮ください。
- ③ 研究中のものでも結構ですが、研究予定または着手したばかりのものは次回に応募くださるようお願いいたします。
- ④ 2年連続の応募はご遠慮ください。（前年度に助成を受けた学校・団体・個人）
- ⑤ 原則として、1学校1作品とさせていただきます。
- ⑥ 他の団体に応募したもの（いわゆる重複のもの）は応募できません。
- ⑦ 助成対象となった研究論文については、「主要な研究成果」（300文字程度）をご提出いただきます。（報告要領は助成の決定通知と共にお送りします。）
「主要な研究成果」は弊財団ホームページに掲載します。

応募票の記入要領

研究題目

主題を60文字以内(あれば副題も含む。)に設定してください。

研究期間

当該研究の開始年月・終了年月(または終了予定年月とし、未定のときは年度末)を記入してください。(例年研究期間の記入漏れが散見されますのでご注意ください。)

助成金振込み先

- ① 通帳を確認し、間違いの無いよう記入してください。
特に口座の名義が学校・団体の場合、通帳名義の通り学校名・団体名・代表者名等を正確に記入してください。(銀行名・支店名が統廃合等によって変更されている場合がありますので、ご注意ください。)
- ② 学校研究の場合、振込み先は学校の口座としてください。(個人名義は不可)
- ③ 口座名義には必ずフリガナを記入してください。
- ④ 助成金は推薦団体より贈呈される場合があります。

推薦団体検印欄

応募票に記入後、推薦団体宛に応募作品と共にご提出ください。
(その後、各推薦団体が検印後 当財団へ送付されます。)

※本応募を通してお寄せいただいた皆様の情報は、当財団の助成事業に係わる業務に必要な範囲内で利用させていただき、その他の目的に利用することは一切ありません。

公益財団法人 **東京海上日動教育振興基金**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16

日動火災・熊本県共同ビル

TEL 03-5537-6375 FAX 03-3573-0177

(<http://www.tmn-kyoiku-sinko-f.org>)

申告者 {
・学校研究:学校名と校長名
・団体研究:団体名と代表者名
・個人研究:学校名と個人名

印

教育研究助成応募票

公益財団法人 東京海上日動教育振興基金の教育研究助成を受けたく、以下のとおり応募します。

区 分		① 学校研究		② 団体研究		③ 個人研究	
研究分野		教科()・外国語活動・総合的な学習(探究)の時間・特別活動・その他(左記以外)					
研究 題 目	主 題						
	副 題						
研究期間		研究の開始 (西暦)		年		終了(終了予定) 月 ~ 年 月	
学校名・名称および住所 ※団体研究の場合は、 代表者の所属する学校	フリガナ				フリガナ		
	学校名				校長・代表者名		
	フリガナ						
	学校住所						
	〒()		TBL()				
			FAX()				
	Email						
助成金振込先	金融機関名				支店名		
	銀行 金庫 農協 その他()				支店 出張所		
	預金種目	普通	当座	口座番号			
	フリガナ					*口座番号・口座名義は預金通帳の通り 正確にご記入ください。 *学校研究の場合は学校名義の口座とし てください。(個人名義は不可)	
推薦 団体 検 印	(推薦団体名)						
	(責任者氏名)						
印							

※応募に際しては、推薦団体の検印が必要です。インターネットからの応募はできませんのでご注意願います。
※応募票の記入例については、裏面をご参照ください。

記入例

申告者

- ・学校研究:学校名と校長名
- ・団体研究:団体名と代表者名
- ・個人研究:学校名と個人名

中央区立銀座小学校
校長 東 日 太 郎

公印

教育研究助成応募票

公益財団法人 東京海上日動教育振興基金の教育研究助成を受けたく、以下のとおり応募します。

区 分	①. 学校研究 ②. 団体研究 ③. 個人研究			
研究分野	①教科(国語)・外国語活動・総合的な学習(探究)の時間・特別活動・その他(左記以外)			
研究題目	主 題 副 題 主題・副題合わせて60文字以内			
研究期間	研究の開始 (西暦)	必ず記入してください 2024 年 4 月 ~ 2025 年 3 月		終了(終了予定) 必ず記入してください
学校名・名称および住所 ※団体研究の場合は、 代表者の所属する学校	フリガナ	チュウオウクリツギンザショウガッコウ		フリガナ トウニチ タロウ
	学校名	中央区立銀座小学校		校長・代表者名 校長 東日 太郎
	フリガナ	トウキョウトチュウオウキンザ		
	学校住所	東京都中央区銀座5-3-16 団体の場合は代表者の 所属学校所在地		
	〒(104 - 0061) TEL(03 - 5537 - ××××)			
	FAX(03 - 3573 - ××××)			
	Email	××××××@△△△△△△.ne.jp		
助成金振込先	金融機関名 東 日		支店名 銀座	
	銀行 金庫 農協 その他()		支店 出張所	
	預金種目	普通 当座 口座番号	××××××××	
	フリガナ	チュウオウクリツギンザショウガッコウチョウ		*口座番号・口座名義は預金通帳の通り 正確にご記入ください。 *学校研究の場合は学校名義の口座と してください。(個人名義は不可)
推薦団体検印	(推薦団体名)			
	(責任者氏名) 推薦団体へ提出のうえ、 検印を受けてください。 推薦団体が不明の場合は 当財団へお問い合わせください。			

印

第42回 (2025年度)

交通遺児育英助成 応募要項

- 公益財団法人 東京海上日動教育振興基金(2009年10月に名称変更)は、日動火災海上保険株式会社(現東京海上日動火災保険株式会社)の創業70周年を記念して1984年8月に設立されました。
- 近年、交通事故による死者数は、医療技術の進歩や車両の安全性の向上などにより、着実に減少傾向にあるものの、事故被害者やご家族への対応は依然として大きな社会的問題として残されております。このことに鑑み、財団事業として、自動車による交通事故によって不幸にも一家の支柱を失い、遺児となった義務教育の過程にある児童生徒を対象に、教育費の負担軽減に寄与すべく奨学金の助成を行ってまいります。
- 応募にあたっては、「応募要項」ご参照の上、「応募票」とともに提出書類を添付してご提出ください。

公益財団法人 **東京海上日動教育振興基金**

募集人員

小学生 50名

中学生 50名

助成対象者の範囲

自動車による交通事故で生計を支える一家の支柱を失われた国公立の小学校、中学校、特別支援学校に在籍する小学生・中学生

※現在助成を受けられている児童・生徒のご兄弟姉妹の応募も可。
 この場合、提出書類にある交通事故証明書等の書類は不要です。

助成内容

- ① 助成金は贈呈であり、返済の必要はありません。
- ② 支給額
小学生 年額 60,000円
中学生 年額 60,000円
- ③ 助成金支給期間
支給期間は最長3年間。但し、申請時に在籍する課程(小学生、中学生)を卒業するまでとします。
従って、採択時小学校1年生・2年生・3年生・4年生、中学校1年生の支給期間は3年間、採択時小学校5年生、中学校2年生の支給期間は2年間、採択時小学校6年生、中学校3年生の支給期間は1年間となります。
- ④ 助成金の支給方法
イ. 2025年度助成金は、2026年2月中旬に年額分を一括支給します。
ロ. 2026年度以降分は、毎年8月に年額分を一括支給します。
- ⑤ その他
イ. 小学校在籍時に受給を受けた方が中学校入学後に再応募することは可能です。
ロ. 助成金の振込先が変更になる場合等は、弊財団にご連絡ください。

応募方法

- ① 保護者の方は「交通遺児育英助成応募票」(記入例参照)、「交通事故証明書」(右記提出書類参照)を用意し、学校長または担任教諭へ提出してください。(「応募票」および記入例は、当財団ホームページからも印刷できます。)
- ② 下記の団体の推薦を受けた人を応募者として受付し選考します。
推薦団体は都道府県によって異なりますので、推薦団体をご不明な場合は、弊財団にお問い合わせください。
- 都道府県および政令指定都市の教育委員会
 - 都道府県の国公立の小学校・中学校の校長会
 - 公益財団法人日本教育公務員弘済会の一部の都道府県支部

- ③ 学校長および担任教諭は、保護者が必要事項を記入済みであることを確認後、所属学校検印欄に必要事項を記入・押印のうえ、予め都道府県ごとに定められた推薦団体へ応募票を提出してください。（一件書類は、推薦団体を経由して当財団へ送付されます。）

推薦団体からの当財団への締切り

2025年10月20日 財団必着

（推薦団体の締切日とは異なります。）

選 考

当財団の選考委員会で選考します。

発 表

2025年12月中旬に推薦団体と学校を通じて応募者に採否をご通知します。

助成金送金方法

採択された応募者が指定する金融機関の指定口座（本人または保護者名義）に振り込みます。

その他ご注意いただくこと

- ① 助成採択時が小学校1年生～小学校4年生の児童および中学校1年生の生徒は、助成期間が3年間となりますので、翌年・翌々年の応募票提出は不要です。
また、助成採択時が小学校5年生の児童および中学校2年生の生徒は、助成期間が2年間となりますので、翌年の応募票提出は不要です。
- ② 助成採択時が小学校1年生～小学校3年生の児童は、助成期間が満了した後、小学校在校期間中の再応募はできません。
（例）
助成採択時が小学校1年生は小学校3年生の時、助成期間が満了となります。
その後、小学校4年生、小学校5年生、小学校6年生時での再応募はできません。
- ③ 学校および推薦団体の検印がないものは、受け付けません。
- ④ 提出された書類は、返却いたしません。

提出書類

下記の書類を「交通遺児育英助成応募票」に添えて提出してください。

[交通事故証明書]…自動車安全運転センター発行（コピー可）

（証明書が取得できない場合は、交通事故と明記されている死亡診断書、または新聞記事等、自動車に起因する交通事故による死亡と判定できる資料を提出してください。）

応募票の記入要領（記入例を参照）

保護者の方へ

応募票右上段の保護者氏名欄には必ずご捺印ください。
日中（9:00～17:00の間）連絡の取れる、連絡先をご記入ください。

“家族の現況”の記載においてご注意ください

「別居」とは、生計を共にする未婚の方（下宿されている学生など）のことです。

“その他”の記載においてご注意ください

保護者が病気、ケガなどで就労不能等の特別な事情がある場合は、その旨ご記入ください。

所属学校検印欄

保護者の方は必要事項をご記入後、学校長または担任教諭へ応募票と必要書類を添えて提出してください。

学校長および担任教諭は、保護者が必要事項を記入済みであることを確認後、検印欄に必要事項を記入してそれぞれ押印のうえ、予め定められた推薦団体へ提出してください。

（学校長印は公印、担任教諭印は私印）

推薦団体検印欄

推薦団体は、検印欄に必要事項を記入・押印のうえ、一括して当財団へ送付してください。

※ 本応募を通してお寄せいただいた皆様の情報は、当財団の助成事業に係わる業務に必要な範囲内で利用させていただき、その他の目的に利用することは一切ありません。

公益財団法人 東京海上日動教育振興基金

〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16

日動火災・熊本県共同ビル

電話 03-5537-6375

FAX 03-3573-0177

<http://www.tmn-kyoiku-sinko-f.org>

保護者氏名

印

交通遺児育英助成応募票

公益財団法人 東京海上日動教育振興基金の交通遺児育英助成を受けたく、以下のとおり応募します。

児童・生徒本人	フリガナ				性別	男・女	年齢	才
	氏名				生年月日		年 月 日生	
	フリガナ							
	住所							
		〒(—) Tel(— —)						
学校名・学年	立 小 中 学校			年生				
死亡された方について	氏名				死亡時の年齢	本人との続柄		
	事故年月日	年 月 日			職業			
保護者	フリガナ				フリガナ			
	氏名				住所	Tel		
	性別	男 女	年齢	才	本人との続柄			
	日中の連絡先	Tel			2024年度所得 (自己申告)	万円		
家族の現況	氏 名	年 齢	本人との続柄	職業または学校名・学年		本人と同別居		
	本人							
	保護者							
その他	[特別な事情があれば記入]							
所属学校検印欄	(学校名・郵便番号・住所・電話番号)							
	(校長名)							
	(担任教諭名)							
推薦団体検印	(団体名・責任者氏名)							

※応募票の記入例については、裏面をご参照ください。

保護者氏名

記入例

東 日 花 子

東
日

交通遺児育英助成応募票

公益財団法人 東京海上日動教育振興基金の交通遺児育英助成を受けたく、以下のとおり応募します。

児童・生徒本人	フリガナ	トウニチ タロウ		性別	(男)・女	年齢	10 才
	氏 名	東 日 太 郎		生年月日	2015 年 6 月 1 日生		
	フリガナ	トウキョウトチュウオウクギンザ					
	住 所	東京都中央区銀座5-3-16					
	学校名・学年	〒(104 - 0061) TEL (03 - 3573 - ××××) 中央区 立 銀座 小 学校 4 年生					
死亡された方について	氏 名	東 日 一 郎		死亡時の年齢	40	本人との続柄	父
	事故年月日	2019 年 11 月 1 日		職 業	会 社 員		
保護者	フリガナ	トウニチ ハナコ		フリガナ	トウキョウトチュウオウクギンザ		
	氏 名	東 日 花 子		住 所	東京都中央区銀座5-3-16 TEL 03-3573-××××		
	性 別	男 (女)	年 齢	40 才	本人との続柄	母	
	日中の連絡先	日中(9:00~17:00) 連絡の取れる連絡先		TEL 090-****-****	2024年度所得 (自己申告)	〇〇〇 万円	
家族の現況	氏 名	年 齢	本人との続柄	職業または学校名・学年		本人と同別居	
	本人	東 日 太 郎	10		中央区立銀座小学校	4 年	
	保護者	東 日 花 子	40	母	無 職		同居
		東 日 一 美	13	姉	中央区立築地中学校	1 年	同居
		東 日 一 夫	70	祖父	無 職		同居
その他	[特別な事情があれば記入]						
	(花子 現在、通院中なので働くことができません)						
所属学校検印欄	(学校名・郵便番号・住所・電話番号) 〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 中央区立銀座小学校 03-5537-××××						
	(校長名)	築 地 二 郎					
	(担任教諭名)	晴 海 町 子					
推薦団体検印	(団体名・責任者氏名)						
	推薦団体へ提出のうえ、 検印を受けてください。 推薦団体が不明の場合は 当財団へお問い合わせください。 印						